

令和4年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

法人名		園 名					
社会福祉法人照治福祉会		清水認定こども園					
評価科目	まとめ		全体平均		4.46		
満3歳以上の教育保育	子ども一人ひとりと丁寧に関わりながら子どもが主体的に行動できるような環境を整え、困難な出来事に向き合った場合はすぐに解決策を伝えるのではなく、見守り、子どもの気持ちに寄り添いながら必要に応じて子どもの思いや考えを聞き出すなどの声掛けや援助を行っている。						
教育及び保育の実践に関わる配慮事項	個々一人ひとりと丁寧に関わり、特性や周りの背景を理解したうえで多様な経験を得られるような言葉がけや環境づくりを工夫し、子どもの育ちを保障している。						
健康及び安全	日々の基本的な手洗いやトイレの使い方や咳エチケットなど衛生面においては常勤看護師がより分かりやすく子どもたちに伝えて習慣となるようにしている。給食においては食育の年間計画を立て旬のものを取り入れ、また職員と調理員との会議を重ね年齢にあった給食提供をしている。安全面においては水あそびや防犯などマニュアルに沿った保育をし環境については月1回の安全点検を行い日々、安全に過ごせる環境づくりをしている。						
子育ての支援	お家の方と参加する行事の充実を図り職員や保護者同士のコミュニケーションをとることができた。地域に向けては園庭開放やランチの提供を定期的で開催し、また2歳児を対象としたプレ保育や親子での工作づくりなど地域に根付いた園を目指して開催することで乳児の園見学者をも増えてきた。						
職員に資質向上	研修については資質能力の向上のために、それぞれのキャリアにあった外部研修を受講する機会を与えている。また、園内研修を積極的に行い、振り返りの時間を設けることで教育・保育内容の充実を図るとともに職員の主体的行動と積極性を高めている。						
総合	今年度は園舎の建て替え、園庭の整備などようやくすべての環境が整い、教育保育に関する園の思いや職員それぞれの思いが一丸となることを目指してきた。子どもの主体性を重んじることは当然の方針として、それに対する職員の働きかけや環境設定、対話を通しての子どもへの寄り添い方などみんなで気づきあうための園内公開保育を行うことで資質向上に努めてきた。教育保育を実践する中で子どもたちに提供するすべてに意味があることを感じながら、職員一人一人のレベルアップを目指したい。						
データ表			データグラフ				
内 容	項目数	平均	1.00	2.00	3.00	4.00	5.00
満3歳以上の教育保育	53	4.34					
教育及び保育の実践に関わる配慮事項	6	4.5					
健康及び安全	28	4.57					
子育ての支援	13	4.77					
職員に資質向上	9	4.33					
計	109	4.46					